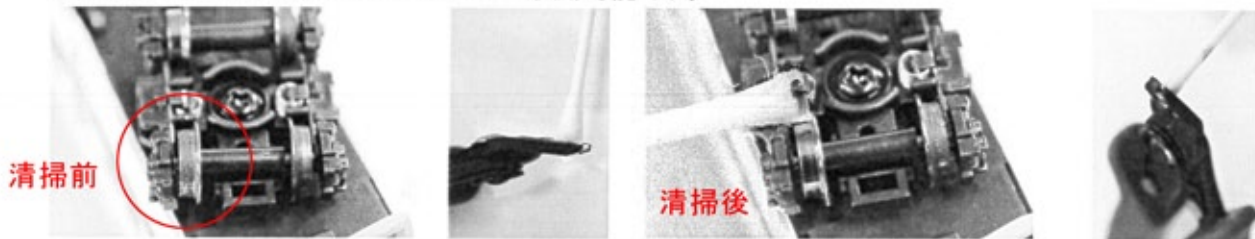


# 車両のお手入れワンポイントガイド

## ■車輪の清掃について

車両の走行に伴い線路上面と車輪踏面に黒い汚れが付着します。放置すると汚れが増大し、やがて通電状態が悪化します。汚れの軽いうちに小まめに拭き掃除を行うことで製品の良好な走行状態を維持可能です。

清掃には大手メーカーより販売されているクリーニング液と、薬局等で市販されている綿棒を使用します。綿棒の先を平にカットすることで90度のエッジを作ることでフランジ付近の汚れまで適切に掃除できます。汚れた綿棒は再びカットすることで複数回使用可能です。



車輪踏面に金属光沢が確認でき、綿棒に汚れが付着しなければ清掃完了です。

- 動力車の場合には室内灯取付用の座席穴から給電し車輪を空回しすることで効率的に車輪清掃が可能です。
- ★長時間走行させた後など、車軸端と台車集電板の窪みにも黒い汚れが溜まる場合があります。車軸端は綿棒の綿部で、集電板の窪みは綿棒の紙軸を斜めにカットしたものを使用することで清掃できます。



## ■注油について

製品は基本的に注油の必要はありませんが、かすれた音を出すようになった場合には以下の箇所へ注油することで症状が改善する場合があります。

注油には市販のミシン油などのサラサラ状の機械油を使い、ごく少量をしみこませる程度で十分です。

過剰注油や該当箇所以外への注油は故障の原因となります。

モーター中心軸受メタルと中心軸との摺動面



## ■動力車伸縮ジョイントの組立について



オス側の突起とメス側の凹みがきちんと噛み合い、ジョイントがスムーズに伸縮するのが正しい状態です。

正しい状態で組立てられていない場合にはジョイントが伸縮せず、以下の症状の原因となりますのでご注意ください。

症例：直線走行時あるいは曲線走行時のどちらかで脱線する、著しく速度が異なる、異音が発生する

原因：ジョイントが伸縮せず、台車の首振を阻害するため。

また台車の角度が特定の箇所でのみジョイントの回転抵抗が少なくなるため

- 製品の機能・構造を理解されない場合の無理な分解はお止めください。
- 本紙の内容に関しまして、お客様の作業の成功を確約するものではありません。メンテナンス作業の参考としてご覧くださいますようお願いいたします。
- 本紙の内容を参照して整備を試み、状態を悪化させてしまった場合には有償修理にてご対応いたしますのでご了承がいます。

MICRO  
ACE

株式会社マイクロエース